

晃の園だより

第141号

あたたかな



春の陽射しを浴びて

過ごしやすい陽気になりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか？ 春の訪れに合わせるかのように、晃の園の利用者の皆様にも笑顔の花が咲いています。植物の芽吹きや春の花が咲き始めると心もほんわか和み、自然と笑みがこぼれてきますね。

新しい出会いを求めて

季節の移り変わりとともに様々な出会いや発見があり、時には別れがあります。そんな毎日の中で、利用者の皆様の力強い姿や多くの笑顔に出会えることが嬉しく感じます。今月号も生活の中で利用者さまが見せる自然な表情を掲載しました。お出掛け日和には、写真では捉えきれない利用者さまの姿を、皆さまの目で発見しに富沢までいらしてください。

普段の生活の中で



とある天気の良い日のこと、K様の居室をのぞくと日光浴をされていました。「あったかくて気持ちいいよ」とK様。春の訪れを感じますね。



ある日のU様です。『1、2、3、4、5、パッ!』と、素敵な笑顔を見せて下さいました。数え歌、今度は皆さんにも教えて下さいね



芸達者なO様、本日もコンビの職員と隣のユニットを訪問し、最新の一発芸を披露してくださいました! 「ちょっと! ちょっとちょっと!」



ショートの利用期間を終えて帰宅する日。自宅で待っている奥様に会うのだからと、身嗜みを整えて背筋を伸ばして...。いつまでもその気持ちを持ち続けることが、若さの秘訣かもしれませぬ。



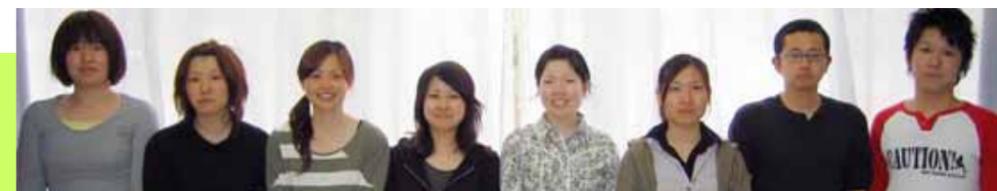
昨年に続き、ショートステイ利用者様の50年来のご友人のご好意で、マジックショーが開催されました。色とりどりの花や紙テープ、なんと火までつけた派手な演出が皆さんの目を釘付けに! 有難うございました。



今日はバレンタインデー!! チョコレートケーキを男性の皆様にはプレゼント。「はい、どうぞ」とS様、笑顔で渡され「どうもすみません」とO様。皆でおいしく頂きました。

新人職員

今年の



4月から一緒に働く仲間です。さわやかな春の陽気の下、新しいスタートに胸をときめかせる彼らの今後の活躍に期待したいものです。よろしくお願いいたします。

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、よろしければご覧ください。晃の園ホームページには「晃の園」で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

一年の無病息災を願って



鬼は～外！福は～内！

2月3日節分の日、晃の園にも職員が扮した鬼がやってきました。でもちょっと待ってください、何か様子が変わりますよ。普通鬼は嫌がられるはずなのに、この鬼達は利用者の皆様に大人気です。色々な所から「ちょっと次はこっち来てよ」とお招きのお声がかかっています。とうとう腕を組んで記念撮影まで始まりました。鬼さんも思わずピースサインで応えます。



皆さんも節分の日には豆をまいて「鬼(邪気)」を払いますよね。一説によると、豆まきには悪魔のような鬼の目“魔目[まめ]”にめがけて豆を投げれば“魔滅[まめ]”すなわち魔が減するという意味があるそうです。なるほど、なるほど…。



年の数だけ豆を食べると…

節分には自分の歳の数だけ豆を食べるとその年は、病気にならず長生きすると言われています。年齢の数だけ食べるのは、年齢に応じた福を体内に入れる為だそうです。今年もどうやら晃の園の利用者の皆様には多くの福を取り入れていただけたようです。

でも節分ですから、やっぱりちゃんと邪気を追い払わないといけませんよね。ちょっともったいない気もしますが、食べても美味しいこの豆を使って「おにはあ～そとあ～！ふくはあ～うちい～！！」一年の無病息災を願って、園内に皆さんの元気な声が響きました。



手作りの大きな鬼が登場！これもかわいい！



節分の日、棟の機能訓練室に鬼の顔が現れました。若菜ユニットで利用者の皆様と職員と一緒に作ったものです。とても大きな鬼の顔、でもちっとも怖くないのです。

口に穴を開けて、ダンボール箱に貼り付けて…。お手玉を投げ入れるゲームが楽しめるのですね、これもなるほど！



いくつになっても桃の節句

明かりをつけましょう ぼんぼりに～

この歌を耳にするようになり始めた2月の下旬、晃の園でも立派なお雛様が飾られました。

私たちの背丈以上もある雛壇飾りには三人官女や五人囃子など様々な装飾品がありましたが、職員だけでは並べ方が分からず、毎年のことながら利用者の皆様のアドバイスを受けながら一緒に飾りました。

お雛様も一年ぶりに皆さんの元気な顔を見ることが出来、とても嬉しそうでした。



久々の再会に、お雛様のもとへついつい何度も足を運ばれる方もいらっしゃるようです。週末の喫茶ではこの雛飾りを眺めながら美味しく甘酒を召し上がりました。

3月3日。この日が来ると、いくつになっても少女の頃に帰ったような気持ちになりますね。春のこの良き日に、また今年一年の健康と幸せを祈ります。



あたたかい贈り物をありがとう

地元の清沢小学校の児童達が、晃の園へ車椅子の寄付にきて下さいました。小学生の皆さんが主体的になって、アルミ缶の資源回収をボランティアで実施し、そこで得たお金で購入して下さったそうです。

車椅子贈呈式では六年生の代表が進行から挨拶まで実施してくれました。

贈呈式の後には合唱やリコーダーの合奏などもあり、利用者の皆様も元気な子どもたちの歌声にとっても感激していました。

子供達の気持ちに少しでも応えたくて

今回のこのとてもありがたい催しに、当施設からも少しでも何かお返しをと考え、車椅子のちょっとした体験会と福祉車両のデモンストレーションを開催させていただきました。子供達のちょっとした思い出になってくれればいいなと思います。

今回のご寄贈にあたり、清沢小学校の児童の皆様、先生方、そして資源回収にご協力くださいました地域の皆様に深くお礼申し上げます。

